

<b>中長期目標 (学校ビジョン)</b>	社会の一員として通用する人間の育成を目標として、体験・実習・交流活動を取り入れながら、社会の中で生きていく力・豊かな人間性を育むとともに、個に応じた学力の向上を図る。
---------------------------	---

<b>今年度の重点目標</b>	(1) わかりやすい授業を工夫し、個に応じた学力の向上を図る。 (2) 基本的生活習慣の確立を促し、規範意識の高揚をはかる生徒指導をする。 (3) 生徒個々に応じた進路指導の充実に努める。 (4) 地域・保護者・地元中学校との連携を促進する。
-----------------	--

年 度 当 初				評 価 結 果 (10)月		
評価項目	現状	具体目標	具体方策	経過・達成状況	評価	改善方策
(1) 授業改善と個に応じた学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習を習慣的に行っている生徒や自主的に学習に取り組む生徒の数が少ない。</li> <li>教科書、ノートを忘れていたりする生徒がいる。</li> <li>習熟度別授業による学力向上の取り組みを実施しており一定の効果は認められる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習の定着を図るとともに、主体的に学習に取り組む生徒を育成する。</li> <li>基礎学力の向上に努める。</li> <li>個に応じた学力向上のための指導法を模索する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題を出すことにより家庭学習の習慣化を図る。</li> <li>全校一般常識小テストに取り組むことにより学力向上の一助とする。</li> <li>生徒による授業評価を実施することにより授業改善を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの教科において課題を出し、確認テストを実施するなど工夫しているが、家庭学習の習慣化までには至っていない。</li> <li>小テストに対して意欲に欠ける生徒もおり、テストの見直しを含め対策が必要である。一方、家庭学習を行い意欲的に取り組んで基準点を超える生徒も少しずつ増えている。</li> <li>各教科において授業評価を実施して授業改善に向けて取り組んでいる。</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題と確認テストなどを適切に成績評価に反映させ、より効果的指導を行う。</li> <li>来年度に向けて、小テストの内容の改善をさらに進め、より積極的に取り組む生徒を増やす。</li> </ul>
(2) 基本的生活習慣の確立と規範意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> <li>遅刻、早退、欠席の多い生徒や頭髪など服装の乱れた生徒も一部にある。</li> <li>ルールやマナーを守れない生徒も見受けられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者と連携・協力して遅刻、早退、欠席する生徒の減少に努める。</li> <li>様々な機会を捉えて、きめ細かな指導を行うことによりルールやマナーを身につける意識を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者との連絡を密にする。</li> <li>全教職員による統一した指導を行う。</li> <li>通学路や駅舎での指導を行う。</li> <li>服装、交通安全、携帯電話、喫煙防止などの指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者との連絡は密接にできたが、特定の生徒において欠席、遅刻、早退が見られる。</li> <li>基準を明確にしたことにより携帯電話・ピアスについては指導の効果があつた。一方、マナー・ルールが身に付いていない生徒も見受けられる。</li> <li>「街頭指導」「生徒指導に関する講演会」などを実施して問題行動の防止に取り組んだ。一部の生徒において問題行動があつたが一定の効果は上がっている。</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>「感情のコントロールができない子への理解と援助」の研修会を実施した。</li> <li>ルール・マナーの指導を徹底するために全教職員が統一を図りつつ指導する。</li> <li>HR、授業の開始・終了時のあいさつを徹底する。</li> </ul>

評価項目	現状	具体目標	具体方策	経過・達成状況	評価	改善方策
(3) 生徒個々に応じた進路指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒自身の進路決定が遅く自分の進路に必要な取り組みが遅くなっている。</li> <li>進路指導部で実施する様々な進路に対する取り組み、1年次の科目「産業社会と人間」、及び2年次の「職場体験学習」などとの連携が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の進路に対する意識を高め、就職や進学に必要な学力や資格、技術を身につけさせるとともに、生徒自らが積極的に取り組む態度を養う。</li> <li>進路に対する様々な取り組みの連携を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年次は、「産業社会と人間」において学校・事業所見学、農業体験、講演会などを実施する。</li> <li>2年次は、「職場体験学習」を実施する。</li> <li>3年次は、個々の進路希望に応じた個人指導を徹底する。</li> <li>3年間を見通した進路指導計画を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「職場見学」「学校見学」「職場体験」「講演会」などを実施した。</li> <li>希望進路に合わせた、各種模試、各種資格取得、徹底した面接指導など様々な取り組みにより、目標を持って積極的に努力するようになった。しかし、進路に対する意識が低いために目標が定められず取りかかりが遅れる生徒もいる。</li> <li>「産業社会と人間」「総合的な学習の時間」を基礎とした、3年間を見通した進路指導計画について検討中である。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路に対する意識の低い生徒に対して個人指導を行う。</li> <li>「産業社会と人間」の授業計画を見直す。</li> </ul>
(4) 地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業体験、保育・介護実習、日野高ショップ、ミュージック・ワークショップ、定期演奏会など各系列において地域と連携した交流活動を実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流活動などを通して、教育効果の向上につなげる。</li> <li>信頼される学校づくりを目指して、地域への情報発信の一つとして役立てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前述の交流事業を実施するとともに、個々の交流事業を点検、見直しを行い、より効果的な交流活動とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育所・老人保健施設での交流活動、小学生や地域の方との農業体験交流活動、日野高ショップなど様々な交流活動や情報発信により地域との繋がりが密接になり、成果が上がっている。一方、参加型イベントは、内容や情報発信が不十分である。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加型のイベントについてはより魅力ある内容に改善する。</li> </ul>

評価基準 A:十分達成 (100%) B:概ね達成 (80%程度) C:変化の兆し (60%程度) D:まだ不十分 (40%程度) E:方策の見直し (30%以下)